

委員会評価報告書

事業名	特産品販路拡大事業（令和元年度実施）				
担当課・室・係	商工観光課経済振興係				
事業の目的	<p>市内の中小企業及び小規模企業の加工品をはじめとする特産品等を、商工会等に委託し、商談会等を開催することにより、事業者の販路を拡大するとともに、ひいては経営基盤の安定強化を図る。また、本市の総合的なイメージの向上及びイベントやSNSを通じた情報発信に努めることにより、特産品の付加価値を向上させる。</p>				
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・大分市で、PRショップを開設。イベントやSNSを通じた情報発信、商店街との連携。 ・商工会等に委託し、小売店での物産展の開催や飲食店等のバイヤーを対象に商談会を実施。また、百貨店を訪問し、食品担当バイヤーに対し商談を行った。 ・新宿高野と連携し、大分かぼすフェア等のイベントを開催。 ・日本野菜ソムリエ協会と連携し、特産品の販路拡大及び情報発信。 				
事業結果に対する評価	A きわめて良好	B 良 好	C おおむね適正	D 問題がある	E かなり問題
<p>【問題点など】</p> <p>事業結果は良好であるが、以下の問題点もある。</p> <p>販路拡大のためイベントやSNSを通じて情報発信をしているが、外部からはその効果が見えづらく限定的である。</p> <p>成果指標の目標値があまりにも低く実績と離れており、活動実績を適切に評価できていない。</p> <p>販路拡大でその効果が市内事業者への程度還元されているかが不明である。</p>					
事業の今後の方向性	1 拡 充	2 継 続	3 改 善	4 縮 小	5 休止・廃止
<p>【提言など】</p> <p>目標値を適正に定め、販路拡大に向けてより積極的に事業展開すること。</p> <p>本市のイメージや特産品の付加価値の向上のため、あらゆる媒体を使った情報発信に努めること。</p> <p>市の魅力ある加工品づくりに積極的に取り組むこと。</p> <p>ウィズコロナ時代の新しい生活様式の普及に即したリモート商談会などの研究に努めること。</p>					